

# SHARP®

## インフォメーションディスプレイ

形名

**PN-HS551**

**PN-HS501**

**PN-HS431**

**PN-HY551**

**PN-HY501**

**PN-HY431**

**取扱説明書**

# HDMI®

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

**この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

●ご使用の前に「安全にお使いいただくために」(3 ページ) を必ずお読みください。

# もくじ

安全にお使いいただくために	3	各種設定メニュー	21
使用上のご注意	5	メニューの基本操作	21
付属品を確認する	7	メニュー項目の詳細	22
各部の名前	8	コンピューター画面の調整について	27
設置について	9	コンピューターで本機を制御する (RS-232C)	28
機器の接続	10	接続のしかた	28
電源の接続	12	通信仕様	28
ケーブル処理のしかた	12	通信手順	28
USB メモリーカバーの付けかた	13	RS-232C コマンド一覧表	29
ロゴシールの貼りかた	13	コンピューターで本機を制御する (LAN)	31
リモコンの準備	14	コマンドによる制御	31
電池の入れかた	14	故障かな?と思ったら	32
リモコンで操作できる範囲	14	アフターサービスについて	33
電源の入/切	15	仕様	34
主電源を入れる	15	設置時の注意事項 (ご販売店・設置業者様用)	38
電源を入れる/切る	15		
基本的な操作	16		
メディアプレーヤーを使用する	19		
再生する	19		
再生中の操作	20		
自動再生する	20		
スケジュールで再生する	20		

付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

## 電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- ※ クラス A 機器の技術基準に適合させるために、この製品の下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。  
HDMI 入力端子、D-sub 入力端子、RS-232C 入力端子

## お願い

- ※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのお客様で相談窓口までご連絡ください。
- ※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。  
残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
- ※ 本機の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
- ※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を「警告」「注意」に区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**図記号の意味** (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける**必要があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。



電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。付属の電源コードは AC100V 用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。火災や感電の原因となります。



ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。



本機の裏ぶたを外さない。改造しない。内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。



本機に水がかかるような場所に設置しない。ぬらさない。火災や感電の原因となります。本機の上や近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等水を排出する機器にも注意してください。



アースを接続する。アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。本機の電源プラグはアース付き 3 ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。




















航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。



電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない。

## ⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

- 
**電源コードは、必ず付属または指定のものを使用する。**  
 付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。
- 
**本機近くのコンセントを使用する。**  
**電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する。**
- 
**電源コードは、タコ足配線しない。**  
 タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
- 
**電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。**  
 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。
- 
**火災や感電を防ぐために、次のことを守る。**
  - 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  - お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 
**直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。**  
 発熱や発火の原因となることがあります。
- 
**ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。**  
 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 
**うつ伏せ、逆さまにして使用しない。**  
 熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。
- 
**上にものを置いたり、上に乗ったりしない。**  
 倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 
**風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。**  
 通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。
- 
**液晶パネルを強く押ししたり、衝撃を与えたりしない。**  
 液晶パネルに力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。
- 
**硬いものでこすったり、たたいたりしない。**  
 破損してけがの原因となることがあります。
- 
**移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、接続されているケーブルを外す。**  
 コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。  
 電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
- 
**通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。**  
 通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。  
 内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼してください。  
 (内部の清掃費用については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。)
- 
**乾電池の使用にあたっては、次のことを守る。**  
 使いかたを誤ると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液漏れによる機器の腐食、手や衣類を汚す原因となります。
  - 指定以外の電池を使用しないでください。
  - プラス (+) とマイナス (-) の向きは、表示に従って正しく入れてください。
  - 新しいものと、一度使ったものを混ぜて使わないでください。
  - 種類の違うものを混ぜて使わないでください。同じ形でも電圧の異なるものがあります。
  - 消耗したときは、速やかに交換してください。
  - 長時間使わないときは、電池を取り出してください。
  - 廃棄するときは、プラス (+) とマイナス (-) をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。
  - 火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしないでください。
- 
**乾電池から液が漏れて皮膚や衣服に付いたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流す。また、漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。**  
 皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。
- 
**本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。**  
 低温やけどの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

## お手入れのしかた

必ず主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

### ◆キャビネットの部分

- ・汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- ・ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげなどの原因となります。

### ◆液晶パネルの部分

- ・液晶パネルの表面は、柔らかい布（レンズクロスやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつかますのでご注意ください。
- ・液晶パネルにほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。
- ・液晶パネルの保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。
- ・汚れた布は使用しないでください。傷つく場合があります。

## 本機では、映像を回転させることはできません

- ・縦長で使用する場合は、縦長のコンテンツをあらかじめご用意ください。

## 電磁波妨害に注意してください

- ・本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起り、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

## 周囲温度は 0℃～ 40℃の範囲内でご使用ください

- ・平置き時は周囲温度 0℃～ 30℃の範囲内でご使用ください。
- ・別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。

## 低温になる部屋（場所）でご使用の場合

- ・ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

## 直射日光が当たる場所で使用しないでください

### 熱気は避けてください

- ・直射日光が当たると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・液晶や部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。

## 窓際などの日光が当たるところに設置する場合

- ・窓際などの日光が当たるところに設置する場合は、紫外線カット対策、赤外線カット対策、温度対策が必要となります。詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

## 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- ・急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品位が低下する場合があります。

## 長時間ご使用にならないとき

- ・長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 海外では使用できません

- ・本機を使用できるのは日本国内だけです。  
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

## 結露（つゆつき）について

- ・本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

## 使用が制限されている場所

- ・航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

## LED バックライトについて

- ・本機に使用しているLEDバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、点灯しないときは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

## 使用上のご注意

### 取扱説明書について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- 本書では、特に断りのない限り、横長で使用する場で説明しています。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards Association の米国および他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社リコーが製作、販売したりコービットマップフォントを搭載しています。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。



# 付属品を確認する

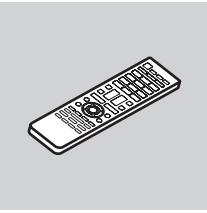
万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

本体:1台



- 電源コード(AC100V用・約3m):1本
- リモコン用乾電池(単4形):2本
- セットアップマニュアル:1部
- 保証書:1部
- ケーブルクランプ:2個
- ロゴシール:1枚
- USBメモリーカバー:1個
- USBメモリーカバー固定ネジ:2本

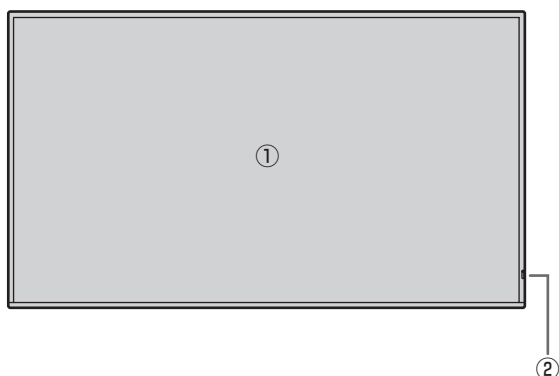
リモコン:1個



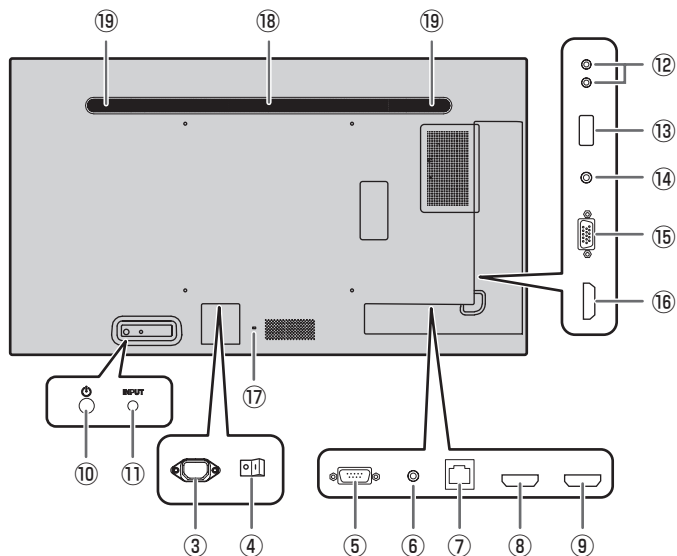
※ AC200V (50/60Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。

# 各部の名前

[前面]



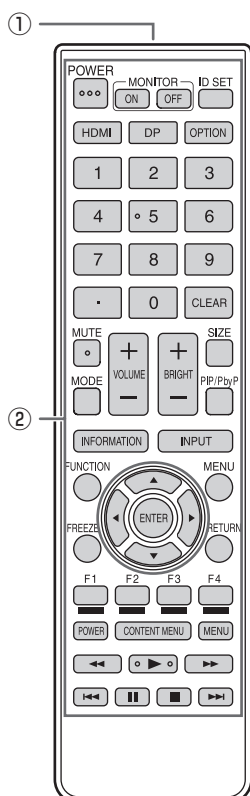
[後面]



- ① 液晶パネル
- ② 電源ランプ (15 ページ) / リモコン受光部 (14 ページ)
- ③ 電源接続端子 (12 ページ)
- ④ 主電源スイッチ (15 ページ)
- ⑤ RS-232C 入力端子 (11 ページ)
- ⑥ IR 出力端子 (11 ページ)
- ⑦ LAN 端子 (11 ページ)
- ⑧ HDMI3 入力端子 (10 ページ)
- ⑨ HDMI2 入力端子 (10 ページ)
- ⑩ POWER (電源) ボタン (15 ページ)
- ⑪ INPUT (入力切替) ボタン (17 ページ)

- ⑫ 音声出力端子 (10 ページ)
- ⑬ USB 端子 (10 ページ)
- ⑭ 音声入力端子 (10 ページ)
- ⑮ D-sub 入力端子 (10 ページ)
- ⑯ HDMI1 入力端子 (10 ページ)
- ⑰ 盗難防止ホール (🔒)  
市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べない  
ように固定することができます。
- ⑱ 通風孔
- ⑳ スピーカー

## ■ リモコン



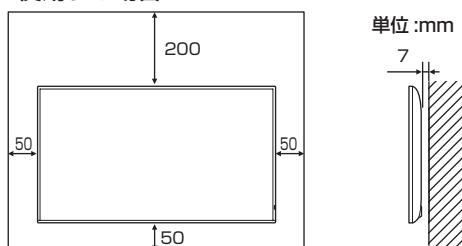
- ① 発信部
- ② 操作ボタン (16 ページ)



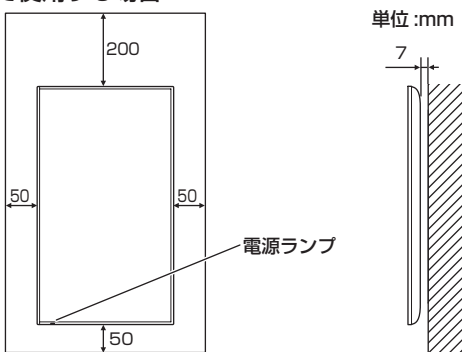
# 設置について

- 本機は屋内用です。
- VESA 規格に準拠したスタンドや取り付け金具が必要です。
- 本機は重量がありますので、設置や取り外し、移動の際は買いあげの販売店にご相談ください。
- 本機を壁掛けや天吊りなどで使用する場合は、特別な技術による工事が必要です。工事は、専門の取り付け工事業者にご依頼ください。お客様ご自身による工事は一切行わないでください。取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。
- 本機は水平面に対し垂直の状態で使用してください。傾ける場合は、上向き / 下向き 20° までにしてください。
- 本機は周囲温度 0℃～40℃の範囲内でご使用ください。熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。

## 横長で使用する場合

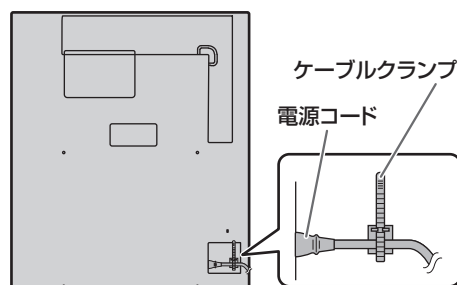


## 縦長で使用する場合



- ケースに入れて設置するなど空間の確保が困難な場合、周囲温度が 0℃～40℃を超える場合は、ファンを設けるなど、周囲温度が 0℃～40℃になるよう対処してください。
- 通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因となることがあります。
- 発熱する機器の上に本機を置かないでください。

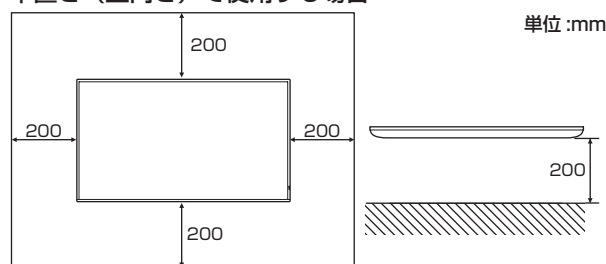
- 縦長で使用するときには、次のことをお守りください。故障の原因となることがあります。
  - 電源ランプを下側に設置してください。
  - 本体設定メニューの「温度センサー設定」を「縦」にしてください。(25 ページ)
  - 電源コード(付属)は、必ず付属のケーブルクランプ(貼付式)で固定してください。固定するときは、電源コード(付属)の端子部分に力が加わらないようしてください。また電源コード(付属)を無理に曲げないようにしてください。



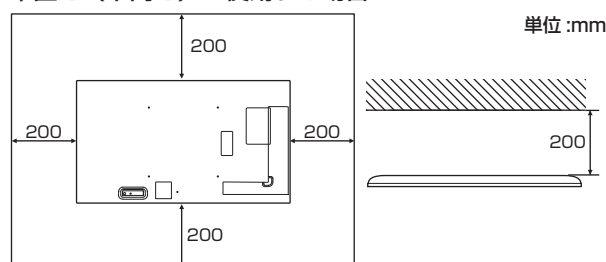
## 平置き設置について

- 本機を平置き(水平面に対し垂直の状態から上向き / 下向き 20° を超えて傾ける場合)で使用するときには、お客様ご相談窓口(セットアップマニュアル)にご相談ください。平置きを設置条件があります。次のことをお守りください。故障の原因となることがあります。
  - 本体設定メニューの「温度センサー設定」を「上向き」または「下向き」にしてください。(25 ページ)
  - 周囲温度 0℃～30℃の範囲内でご使用ください。熱がこもるのを防ぐため、天井などの設置面や上下左右に 200mm 以上の周囲空間を確保ください。空間の確保が困難な場合、周囲温度 0℃～30℃を超える場合は、ファンを設けるなど、周囲温度が 0℃～30℃になるよう対処してください。

## 平置き(上向き)で使用する場合

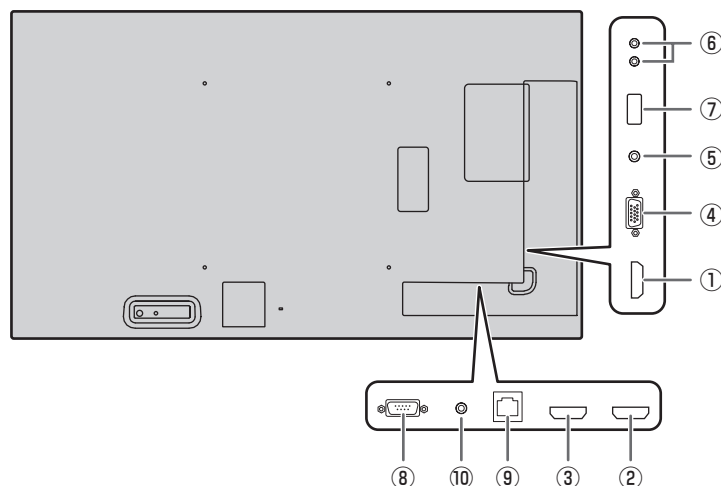


## 平置き(下向き)で使用する場合



- 液晶パネルを強く押ししたり、衝撃を与えたりしないでください。

# 機器の接続



## ！ご注意

- 接続ケーブルの取り付け／取り外しは、主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
- 接続の際、入力端子と出力端子を間違えないように注意してください。誤動作や故障の原因となる場合があります。
- 端子が破損・変形したケーブルを使わないでください。無理に接続すると故障の原因となる場合があります。

## ご参考

- 接続するコンピューター（ビデオカード）によっては、正しく表示されないことがあります。
- 「D-SUB」でコンピューターの画面を初めて表示させたときや、そのコンピューターの設定を変更したあとは、画面の自動調整を行ってください。
- 再生機器からスピーカーなどへ音声を直接出力した場合、本機の映像が音声から遅れる場合があります。再生機器と本機の音声入力端子、本機の音声出力端子とスピーカーなどを接続し、本機経由で音声を出力してください。
- 各入力モードで使用する音声入力端子は、下記のように設定されています。

入力モード	音声入力端子
HDMI1	HDMI1 入力端子
HDMI2	HDMI2 入力端子
HDMI3	HDMI3 入力端子
D-SUB	音声入力端子
USB	USB 端子

### ① HDMI1 入力端子

### ② HDMI2 入力端子

### ③ HDMI3 入力端子

- 市販の4Kに対応したHDMIケーブル(HDMI規格認証品)で接続します。
- 「HDMI」の場合、音声ケーブルを音声入力端子に接続する必要はありません。

### ④ D-sub 入力端子

- 市販の信号ケーブル(ミニD-sub 15ピン)で接続します。

### ⑤ 音声入力端子

- 市販の音声ケーブル(ミニステレオジャック)で接続します。音声ケーブルは抵抗がないものを使ってください。

### ⑥ 音声出力端子

- 本機に入力された音声が出力されます。
- 市販の音声ケーブル(ピンジャック)で接続します。
- 出力される音声は、入力モードにより異なります。
- 音量調整で音量が調整できます。
- 音声調整メニューの「音声出力」で出力される音量を固定することができます。
- 音声出力端子から出力される音声を、音声調整メニューで調整することはできません。

### ⑦ USB 端子

- USBメモリーをUSB端子に接続します。
- USBメモリー以外のUSB機器は接続できません。
- USBメモリーの取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

#### 対応するUSBメモリーについて

ファイルシステム	FAT32	NTFS
容量	32GB まで*	2TB まで

\*:最大ファイルサイズ 4GB

- セキュリティ機能や書き込み保護機能のあるUSBメモリーは使用しないでください。
- USB端子に挿入可能な形状のUSBメモリーをお使いください。特殊な形状のUSBメモリーは挿入できない場合があります。また、無理に接続しないでください。端子の破損や故障の原因となる場合があります。

**⑧ RS-232C 入力端子**

- 市販のRS-232Cストレートケーブルを使ってコンピューターに接続すると、本機をコンピューターから制御することができます。

**⑨ LAN 端子**

- 市販のLANケーブルを使ってネットワークに接続すると、本機をネットワーク上のコンピューターから制御することができます。

**⑩ IR 出力端子**

- 本機を経由して、接続している外部接続機器を操作することができます。外部接続機器のリモコンを、本機の受光部に向けて操作します。

# 電源の接続

## ！ご注意

- 電源コードは必ず付属または指定のものを使用してください。



### アースを接続する。

### 警告

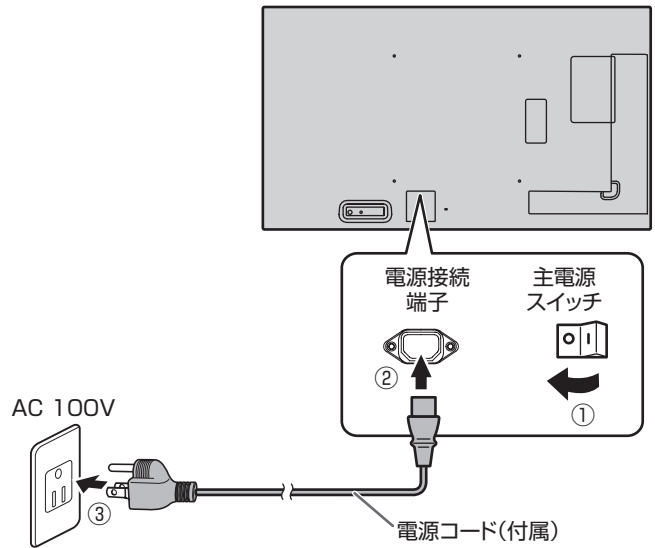
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。

本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。

### 電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する。

付属の電源コードはAC100V用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

1. 主電源スイッチを「切」にする。
2. 電源コード（付属）を電源接続端子に差し込む。
3. 電源コード（付属）のプラグをコンセントに差し込む。



## ご参考

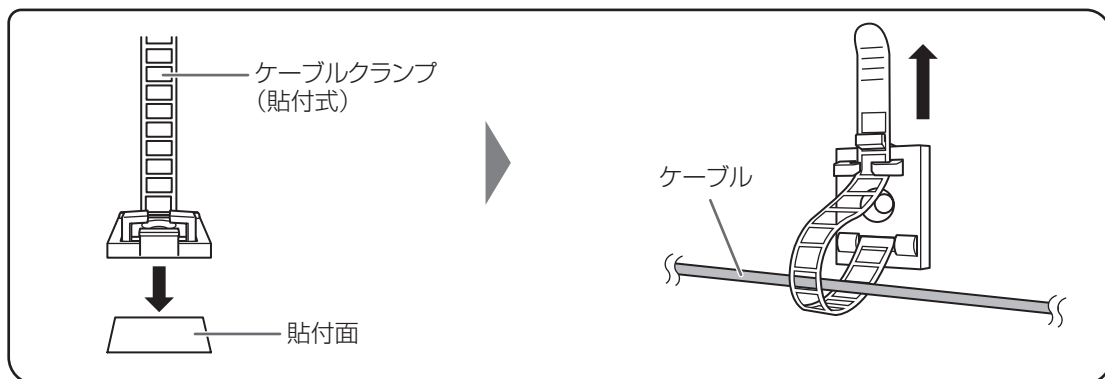
- AC200V (50/60Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。

# ケーブル処理のしかた

電源コード、ディスプレイ後面に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプ（貼付式）で固定することができます。

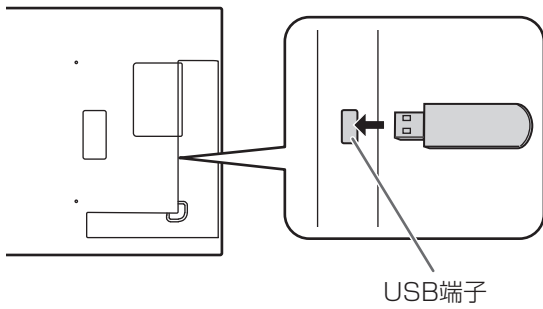
## ！ご注意

- 付属のケーブルクランプは、平らな面に貼り付けてください。通風孔などには貼り付けしないでください。
- 貼付面のほこりなどを取り除いてから、貼り付けてください。

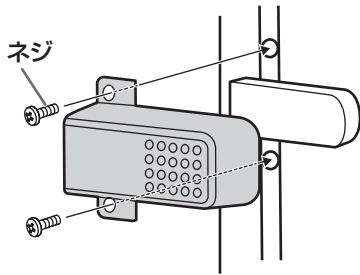


# USB メモリーカバーの付けかた

1. USB メモリーを USB 端子に挿入する。



2. USB メモリーカバーを付け、付属のネジ（2本）で固定する。



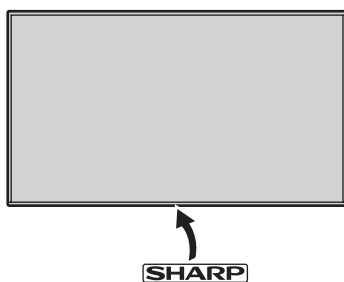
## ご参考

- USB メモリーカバーを付ける場合は、長さ 50mm（端子部含む）×幅 20mm ×高さ 12mm 以内の USB メモリーをお使いください。

# ロゴシールの貼りかた

付属のロゴシールを本機に貼ることができます。  
下記の例を参考に、必要に応じて貼ってください。

横置きの場合の例



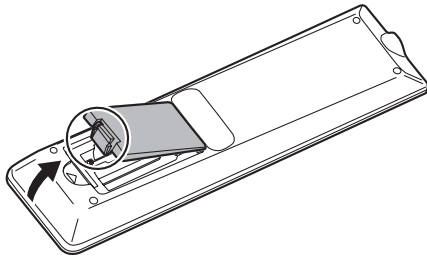
縦置きの場合の例



# リモコンの準備

## 電池の入れかた

1. ▲部に指をかけ、カバーを引き上げる。



2. 付属の乾電池（単4形×2本）をリモコンに入れる。

リモコン内部の表示に従って、プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れてください。

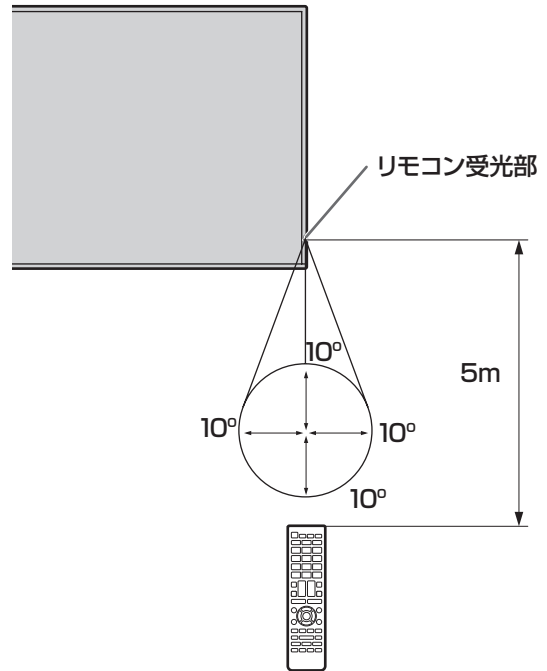
3. カバーを元に戻す。

### ご参考

- 電池が消耗したときは、早めに新しい乾電池（市販品）と交換してください。
- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがあります。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

## リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から約 5m、上下左右に約 10° 以内です。



### ご参考

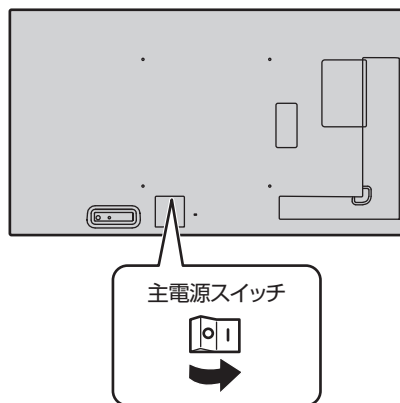
- 落としたり、踏んだりして衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 水にぬらしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。

# 電源の入／切

## ！ご注意

- 本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。
- 電源の切／入は、必ず約 5 秒以上の間隔を空けてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

## 主電源を入れる



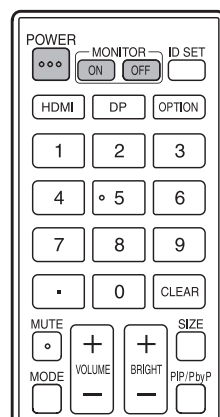
## ！ご注意

- 主電源の切／入は、主電源スイッチで行ってください。主電源「入」の状態での電源コードの抜き差しや、プレーカーの切／入などは行わないでください。

## 電源を入れる／切る

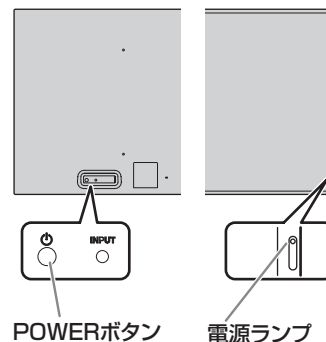
リモコンや本体の POWER ボタンを押すたびに、電源を入／切することができます。

リモコンの MONITOR ON ボタンで電源入、MONITOR OFF ボタンで電源切することもできます。



【後面】

【前面】



状態	本機の状態
緑色点灯	電源「入」
オレンジ色点灯	電源「切」(電源待機状態*)
緑色点滅	入力信号待機状態

\* 「パワーセーブモード」が「する」のとき、「スタンバイモード」となります。

「パワーセーブモード」が「しない」のとき、「ネットワークスタンバイモード」となります。

## ご参考

- 主電源が「切」の場合、電源を入れることはできません。
- 入力信号待機状態のときに POWER ボタンまたは MONITOR OFF ボタンを押すと、電源待機状態になります。
- スケジュールを設定すると、電源待機状態の電源ランプは、赤色とオレンジ色の交互に点滅します。

## ■ 時計の設定について

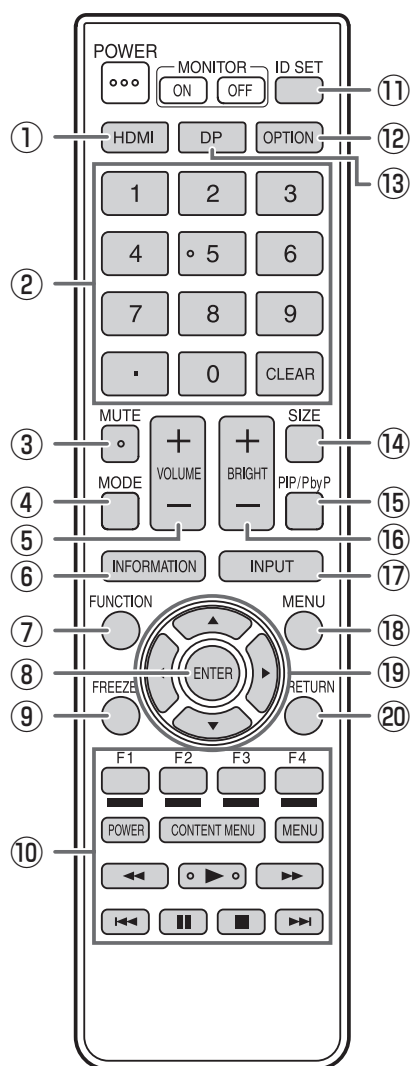
- 初めて電源を入れたときなど、時刻が設定されていないときは、日時設定の画面が表示されます。日付と時刻を設定してください。
- 必ず日付と時刻を設定してください。

## ご参考

- 主電源が切れた状態が約 1 週間\* 続くと、時計が止まります。(\* 目安です。本機の状態により異なります。)



# 基本的な操作



## ① HDMI

入力モードを HDMI1、HDMI2 または HDMI3 に変えます。

## ② 数字入力ボタン

LAN の設定などで使用します。

## ③ MUTE (消音)

音声を一時的に消します。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

## ④ MODE (カラーモード切替)

押すたびに以下の順でカラーモードを切り換えます。

標準→あざやか→sRGB→高照度カラー→標準…

- ・ 高照度カラーとは、周囲が明るい場所に適した色合いでの表示になります。
- ・ sRGB とは、IEC (International Electrotechnical Commission) が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表現になります。

## ⑤ VOLUME + / - (音量調整)

+ や - で音量を調整します。

## ⑥ INFORMATION (状態表示)

ディスプレイの情報を確認することができます。

## ⑦ FUNCTION (機能)

本体ボタンロックやリモコンロックを無効にするときに使用します。(24 ページ)

## ⑧ ENTER (実行)

設定を確定します。

## ⑨ FREEZE

本機では使用しません。

## ⑩ メディアプレーヤー、HDMI 接続機器操作ボタン

- ・ メディアプレーヤーで使用します。詳細は 19 ページをご覧ください。
- ・ 「HDMI CEC 連動」が「自動」の場合、HDMI で接続された機器の操作で使用します。

## ⑪ ID SET

本機では使用しません。

## ⑫ OPTION

本機では使用しません。

## ⑬ DP (DisplayPort)

本機では使用しません。

## ⑭ SIZE (画面サイズ切替)

押すたびに画面サイズを切り換えます。(18 ページ)

## ⑮ PIP/PbyP

本機では使用しません。

⑩ BRIGHT + / - (明るさ調整)

+や-で明るさを調整します。

⑪ INPUT (入力切換)

メニューが表示されます。▲▼ボタンで入力モードを選び  
ENTER ボタンで決定します。

※ 本体の INPUT (入力切換) ボタンを押しても、入力モードを変えることができます。

入力モード	映像	音声
HDMI1	HDMI1 入力端子	HDMI1 入力端子
HDMI2	HDMI2 入力端子	HDMI2 入力端子
HDMI3	HDMI3 入力端子	HDMI3 入力端子
D-SUB	D-sub 入力端子	音声入力端子
USB	USB 端子	USB 端子

⑫ MENU (メニュー表示)

メニューが表示されます。

メニューについて詳しくは 21 ページを参照してください。

⑬ カーソル

項目選択、調整値変更、カーソル移動などに使用します。

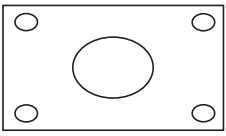
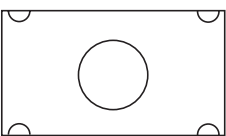
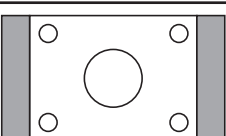
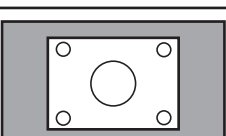
⑭ RETURN (戻る)

前の画面に戻ります。

## 基本的な操作

### ■ 画面サイズ切替について

入力信号によっては、画面サイズを切り換えても表示が変わらない場合があります。

ワイド		画面いっぱいに映します。
ズーム		映像を縦横比を変えずに画面にすきまなく拡大します。映像の端が表示されないことがあります。
ノーマル		縦横比を変えずに、画面いっぱいに映します。
Dot by Dot		入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示します。

#### ご参考

- 営利目的、または、公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、本機の画面サイズ切替機能等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- オリジナル映像（外部機器から入力されたテレビ放送やビデオソフトなどの映像）の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- 4：3の映像を、画面サイズ切替機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切替機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が残る場合があります。

# メディアプレーヤーを使用する

本機に接続した USB メモリー内の静止画 / 音楽 / 動画ファイルを再生することができます。静止画ファイルの表示中に音楽ファイルを再生することもできます。USB メモリーについては、10 ページをご覧ください。

## ■ 対応フォーマット

再生できるファイル形式は以下の通りです。表に記載されていないフォーマットは、動作保証対象外です。

### 静止画ファイル

拡張子	最大解像度
*.jpg (*.jpeg)	15360 x 8640

- プログレッシブ形式の JPEG ファイルをサポートしていません。

### 音楽ファイル

拡張子	音声コーデック
*.mp3	MPEG-1 L2/L3、MPEG-2 L3

### 動画ファイル

4K までの動画ファイルを再生できます。

拡張子	動画コーデック	音声コーデック
*.ts	MPEG2/H.264/H.265	AAC、MP3、LPCM
*.mp4	H.264 MP@5.0/H.265 Main@5.1	AAC、MP3

- 動画コーデックと音声コーデックの両方が対応する必要があります。
- 2160p 60Hz までの動画ファイルを再生できます。
- 上記ファイルでも再生できない場合があります。
- フォルダー名やファイル名は、32 文字以内の半角英数字を使用してください。

## 再生する

### ご参考

- ファイルは USB メモリーにコピーした順に表示 / 再生されます。再生したい順にファイルを USB メモリーにコピーしてください。ただしファイルシステムが NTFS の場合、ファイル名の昇順で表示 / 再生されます。
- USB メモリーを接続したり、電源を入れたときに、静止画または動画ファイルを自動再生することができます。(20 ページ)

## ■ 再生するファイルの種類を選ぶ

1. USB メモリーを接続する。(10 ページ)
2. 入力モードを「USB」に切り換える。(17 ページ)
3. ◀▶ ボタンで再生するファイルの種類を選び、ENTER ボタンを押す。

## ■ 再生する

1. 再生するファイルを表示する。  
フォルダー内のファイルは、◀▶ ▲ ▼ でフォルダーを選び、ENTER ボタンを押して表示します。
2. 再生したいファイルを選び、ENTER ボタンを押す。  
ファイルが選択されます。  
複数のファイルを選ぶことができます。異なるフォルダー内のファイルを選ぶこともできます。
3. ▶ (再生) ボタンを押す。  
選択したファイルが再生されます。

### ご参考

- 再生時の画面サイズは「ノーマル」です。
- ファイルを選択せずに ▶ (再生) ボタンを押すと、そのフォルダー内のすべてのファイルを再生します。
- 「Return」フォルダーはルートフォルダー、「Up Folder」は 1 つ上のフォルダーに戻ります。
- リモコンの VOLUME ボタンと MUTE ボタンで音量の調整ができます。
- 再生中の操作については 20 ページをご覧ください。

## ■ 再生を停止する

1. ■ (停止) ボタンを押す。

### 再生中の操作

再生が始まると、CONTENT MENU ボタンを押して操作バーを画面下部に表示することができます。

操作バーの表示中は、以下の操作を行うことができます。

Play / Pause	ファイルを再生する。/再生を一時停止する。
FB	ファイルを早戻しする。 (Music/Movie のみ)
FF	ファイルを早送りする。 (Music/Movie のみ)
Prev.	前のファイルに戻る。
Next	次のファイルに進む。
Stop	再生を停止する。
RepeatNone / Repeat 1 file / RepeatALL	RepeatNone: プレイリスト内のファイルを1回再生する。 Repeat 1 file: 再生中のファイルを繰り返し再生する。 RepeatALL: プレイリスト内のファイルを繰り返し再生する。
Set A / Set B / None	設定した範囲を繰り返し再生する。 Set A: 範囲の開始位置を設定する。 Set B: 範囲の終了位置を設定する。 (Music/Movie のみ)
Random On / Random Off	Random On: プレイリスト内のファイルをランダムに繰り返し再生する。 Random Off: プレイリスト内のファイルを順に再生する。
Music On / Music Off	「Music On」に設定すると、同じフォルダー内の静止画ファイルと音楽ファイルを同時に再生する。 (Photo のみ)
Playlist	プレイリストを表示する。
Info	再生中のファイルの情報を表示する。
Rotate (右回転)	一時的に表示を右に 90° 回転する。 (Photo のみ)
Rotate (左回転)	一時的に表示を左に 90° 回転する。 (Photo のみ)
Zoom In	拡大表示する。(Photo のみ)
Zoom Out	縮小表示する。(Photo のみ)
Move View	拡大表示中の表示領域を選ぶ。 (Photo のみ)
Slideshow Time	スライドショーの切り換え時間を設定する。自動再生、スケジュール再生もこの設定が反映されます。以下の時間は目安です。ファイルにより異なります。 Short.....約 5 秒 Medium.....約 10 秒 Long.....約 15 秒 (Photo のみ)

### 自動再生する

USB メモリー内の静止画 (.jpg[.jpeg]) または動画 (mp4 形式) を自動再生することができます。

#### ■ 準備

ファイルを準備します。再生するファイルには、「001 ~ 030」(例「001.jpg」~「030.jpg」)の名前を付けてください。

1. USB メモリーのルートフォルダーに「autoplay」というフォルダーを作成し、自動再生するファイルをコピーする。

ファイルの種類を選びます。

1. MENU ボタンを押し、◀▶ ボタンで「本体設定」を選び、▲▼ ボタンで「自動再生」を選ぶ。
2. ▲▼ ボタンでファイルの種類を選ぶ。

#### ■ 自動再生する

USB メモリーを接続 (10 ページ) して、本機の電源を入れる。

自動再生が始まります。

または、本機の電源が入っているときに、USB メモリーを接続 (10 ページ) する。

自動再生が始まります。

#### ■ ご参考

- 静止画と動画を同時に自動再生することはできません。
- 自動再生は「autoplay」フォルダーのすべての静止画または動画を繰り返し再生します。

#### ■ 自動再生を停止する

1. ■ (停止) ボタンを押す。

### スケジュールで再生する

スケジュール機能を利用して、USB メモリー内の静止画 (.jpg[.jpeg]) と動画 (.mp4 形式) のファイルを自動再生することができます。

スケジュール (27 ページ) の「入力」を「USB」、「自動再生 1」または「自動再生 2」に設定します。

それぞれ下記のフォルダー内の静止画や動画を再生します。

USB : ¥autoplay

自動再生 1 : ¥autoplay 1

自動再生 2 : ¥autoplay 2

#### ■ ご参考

- 静止画と動画を同時に自動再生することはできません。「本体設定」メニューの「自動再生」で自動再生するファイルの種類を設定します。(24 ページ)

# 各種設定メニュー

## メニューの基本操作

映像・音声などの調整や各種機能の設定をすることができます。ここではメニューの使いかたについて説明します。各項目の詳細は、22 ページをご覧ください。

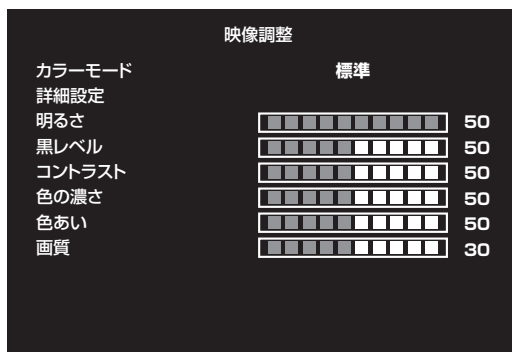
### ！ご注意

- メニューなどの表示中に、主電源スイッチを「切」にしないでください。設定内容が初期化される場合があります。

## ■ 操作例

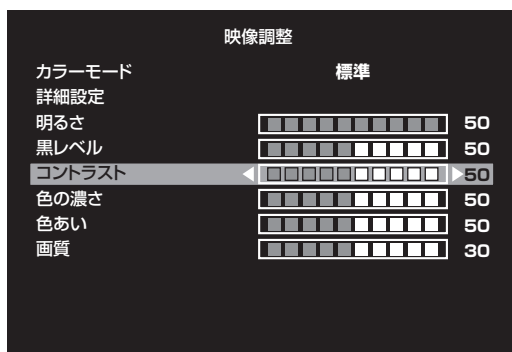
(映像調整メニューの「コントラスト」を調整する。)

1. MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示する。

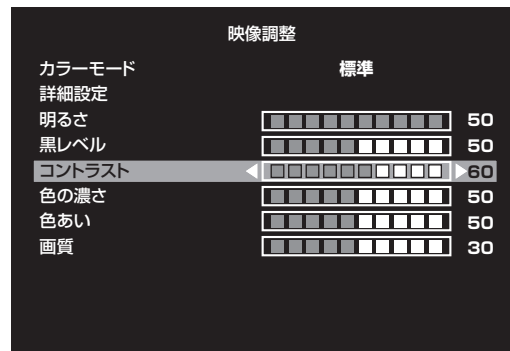


2. ◀▶ ボタンで「映像調整」を選ぶ。

3. ▲ ▼ ボタンで設定項目（「コントラスト」）を選択する。



4. ◀▶ ボタンで設定を調整し、RETURN ボタンを押す。

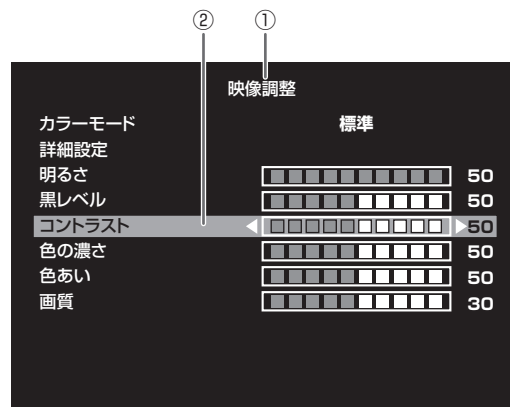


5. MENU ボタンを押し、メニュー画面を閉じる。

### ご参考

- メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

## ■ メニューの見かた



- ① メニュー名
- ② 選択中の項目（ハイライト表示）

### ご参考

- 選択できない項目（現在の入力信号で動作しない機能など）は灰色で表示されます。

### メニュー項目の詳細

メニュー画面は、入力信号の種類により内容が異なります。

#### ■ 映像調整

##### カラーモード

画面のカラーモードを切り換えます。リモコンで切り換えることもできます。  
(詳細は 16 ページをご覧ください。)

##### 詳細設定

##### 画面サイズ

SIZE ボタンを押した設定と同じ設定を行います。設定内容に関しては 18 ページをご覧ください。

##### 色温度

調整しない..... 入力信号レベルをそのまま表示します。「明るさ」が最大のとき、輝度が最大になります。  
プリセット..... 「プリセット」で色温度を選びます。  
ユーザー設定..... 「ユーザー設定」で「赤色／緑色／青色コントラスト」をそれぞれ調整します。

##### プリセット

「色温度」が「プリセット」のとき、色温度を選びます。  
設定値は目安です。画面の色温度は経年により変わります。一定の色温度を維持するものではありません。

##### ユーザー設定

「色温度」が「ユーザー設定」のとき、各項目を調整します。  
赤色コントラスト..... 明るい階調の赤成分を調整します。  
緑色コントラスト..... 明るい階調の緑成分を調整します。  
青色コントラスト..... 明るい階調の青成分を調整します。

##### ノイズリダクション

映像のノイズを低減します。  
設定を強くするほどノイズは少なくなりますが、動画がぼける場合があります。

##### アクティブコントラスト

アクティブコントラストを有効にするか、無効にするかを設定します。

##### ガンマ

ガンマを選択します。

##### HDMI RGB 入力レンジ

RGB 入力信号のレンジを設定します。  
HDMI のとき「自動」にすると、自動的に設定します。通常は、「自動」でお使いください。「自動」で正しく設定できない場合は、映像に合わせて設定してください。設定が異なると、黒が浮いたり、階調がつぶれたりして表示されます。

##### 明るさ

バックライトの明るさを調整します。

##### 黒レベル

映像信号の全体的な明るさを調整します。

##### コントラスト

映像の明るい部分と暗い部分の差を調整します。

##### 色の濃さ (HDMI)

色の濃さを調整します。

##### 色あい (HDMI)

肌色を調整します。+方向で緑色に、-方向でマゼンタ色になる方向に色相を調整します。

##### 画質 (HDMI)

画像のシャープさを調整します。



**■ 音声調整****高音**

高音の音量を調整します。

**低音**

低音の音量を調整します。

**バランス**

音声の左右のバランスを調整します。

**スピーカー出力**

使用するスピーカーを選びます。

**音声出力**

音声出力端子から出力される音量について設定します。

可変 ..... 音量調整で調整できます。

固定 ..... 固定します。

**■ 本体設定****言語選択**

画面の表示言語を設定します。

**日付・時刻設定**

日時を設定します。

時刻形式 ..... 時刻の表示形式を設定します。

12 時間制、24 時間制

**スケジュール (27 ページ)**

指定の時刻に電源を入/切することができます。

USB メモリーのファイルを指定の時刻に再生することができます。

**HDMI CEC 連動**

自動 ..... HDMI CEC 機能を使用します。

HDMI 入力端子に接続されている機器が CEC に対応している場合、機器の再生に連動して、本機の入力モードが HDMI に変わります。

しない ..... HDMI CEC 機能を使用しません。

**HDMI モード**

HDMI 入力端子で表示するコンテンツの処理方法とデコード方式を設定します。

モード 1 ..... 通常使用。

最も一般的な色空間、エンコード方式に対応しています。

モード 2 ..... 「モード 1」で正しく表示できない場合に使用します。

ただし、対応解像度は、4K30p までです。

**通信設定****RS-232C/LAN 切替**

コンピューターから本機を制御するときの方法を選びます。

**LAN 設定**

コンピューターから LAN 経由で本機を制御するための設定を行います。(31 ページ)

## 各種設定メニュー

### 画面調整

#### 自動調整 (D-SUB)

現在入力されている映像信号を使って、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」を自動的に調整します。

ENTER ボタンを押すと実行されます。「D-SUB」でコンピューターの画面を初めて表示させるときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、自動調整を行ってください。(27 ページ)

#### クロック (D-SUB)

該当映像のサンプリングクロックの周波数を調整します。

縦じま状のちらつきがあるときに調整してください。

調整用パターン (27 ページ) を利用するときは、調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように調整してください。

#### フェーズ (D-SUB)

該当映像のサンプリングクロックの位相を調整します。細かな文字などを出したときにコントラストがつかなくなったり、映像の端にちらつきが出るときに調整してください。調整用パターン (27 ページ) を利用するときは、調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように調整してください。

※「フェーズ」の調整は、「クロック」を正しく調整したあとに行ってください。

#### 水平位置 (D-SUB)

映像の左右の位置を調整します。

#### 垂直位置 (D-SUB)

映像の上下の位置を調整します。

#### リセット

画面調整メニューの各項目値を、工場出荷時に戻します。

「する」を選び、ENTER ボタンを押してください。

### パワーセーブモード

「しない」のとき、電源待機状態は「ネットワークスタンバイモード」となります。電源待機状態からの起動時間が短くなります。ただし、電源待機状態の消費電力が増えます。

「する」のとき、電源待機状態は「スタンバイモード」となります。電源待機状態の消費電力を減らすことができます。ただし、電源待機状態からの起動時間が長くなります。

スタンバイモードでは、一部の RS-232C コマンドや LAN の制御が使えません。(28 ページ、31 ページ)

### 無操作オフ

リモコン、RS-232C や LAN からの操作がない場合に、電源待機状態に移行するかどうかを設定します。

「する」にすると、4 時間操作がない場合、電源待機状態になります。

### パワーマネージメント

無信号状態で入力信号待機状態に切り換えるかどうかを設定します。

### 無信号時自動入力切換

自動入力切換をするかどうかを設定します。「する」にすると、現在選択している入力モードが無信号になったとき、映像信号が入力されている別の入力モードへ自動的に変わります。

下記の順に切り換わります。(接続機器により切り換えに 15 秒以上かかる場合があります。すべての入力端子に信号が無い場合、入力信号を検知するまで切り換えを続け、入力信号待機状態にはなりません。)

USB (USB メモリー接続時)、HDMI1、HDMI2、HDMI3、D-SUB

### 自動再生

USB メモリーの自動再生するファイルの種類を設定します。(20 ページ)

### 本体ボタンロック

本体ボタン操作を禁止することができます。

本体ボタンロックを無効にするには、FUNCTION ボタンを押したあと、▲▼◀▶ボタンを順に押します。

### リモコンロック

リモコン操作を禁止することができます。

許可する ..... リモコン操作を禁止しません。

全ロック ..... リモコンのすべてのボタン操作を禁止します。

ボリューム以外禁止 ..... リモコンの音量調整ボタン以外の操作を禁止します。

電源ボタン以外禁止 ..... リモコンの POWER ボタン以外の操作を禁止します。

リモコンロックを無効にするには、FUNCTION ボタンを押したあと、「リモコンロック中」の表示が消えるまでに ▲▼◀▶ ボタンを順に押します。

**温度センサー設定**

ディスプレイの設置方向を選びます。

横.....横長

縦.....縦長

上向き.....表示画面が上向き

下向き.....表示画面が下向き

**LED 点灯**

電源ランプを点灯させるか、させないかを切り換えます。

**製品情報**

ディスプレイの情報を確認することができます。

**180 度回転**

縦長設置時に表示が上下逆になる場合、180 度回転して表示することができます。インターレース信号の場合は正しく表示されないことがあります。

**マルチ**

エンラージ.....エンラージ機能を使用するかどうかを設定します。

拡大倍率（水平） / 拡大倍率（垂直）... エンラージ時の水平 / 垂直方向の画面分割数（ディスプレイ設置台数）を設定します。

拡大位置.....エンラージ機能使用時に、分割された画面のどの部分を表示させるかを設定します。

額縁補正.....「エンラージ」が「する」のときに、額縁補正機能を使用するかどうかを設定します

**オールリセット**

設定を工場出荷時の状態に戻します。

**ご参考**

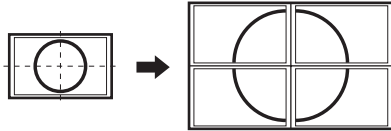
- 「色温度」が「調整しない」のとき、「黒レベル」「コントラスト」「色あい」「色の濃さ」「ガンマ」「プリセット」「ユーザー設定」「アクティブコントラスト」は設定できません。
- 「カラーモード」が「sRGB」のとき、下記項目は設定できません。  
「色温度」、「プリセット」、「ユーザー設定」、「アクティブコントラスト」、「ガンマ」
- 「カラーモード」が「あざやか」「高照度カラー」のとき、「ガンマ」は調整できません。

## 各種設定メニュー

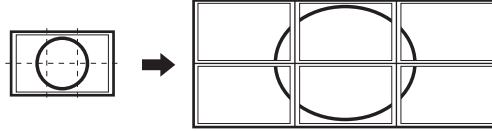
### ■ エンラージ

- 本機を並べて1つの大きな画面として表示させることができます。
- 水平方向に5台まで、垂直方向に5台まで並べることができます。
- 各ディスプレイは、分割された映像の各部分を拡大して表示します。

(例) 水平方向：2台  
垂直方向：2台



水平方向：3台  
垂直方向：2台



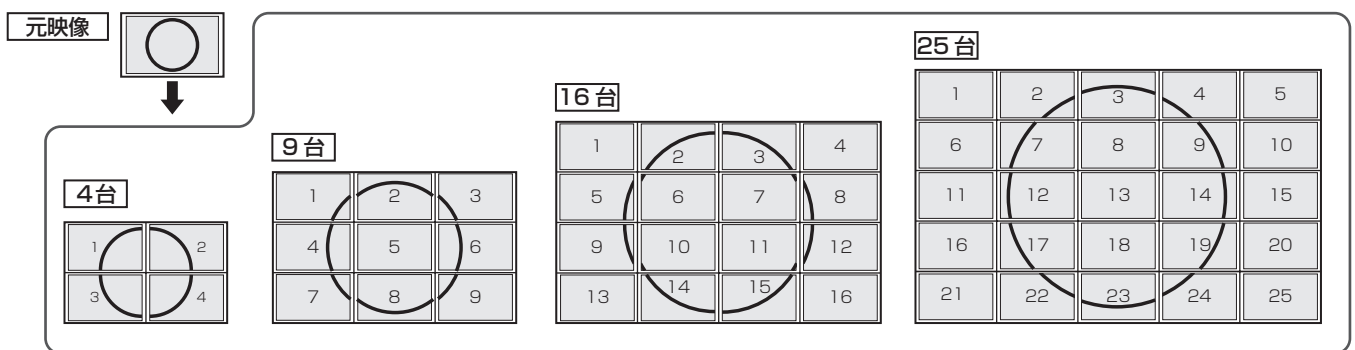
#### 設定方法

1. 本体設定メニューの「マルチ」を選ぶ。
2. 「エンラージ」を「する」に設定する。
3. 水平方向の設置台数を「拡大倍率（水平）」に設定する。
4. 垂直方向の設置台数を「拡大倍率（垂直）」に設定する。
5. 分割された映像のどの部分を表示させるかを「拡大位置」で設定する。

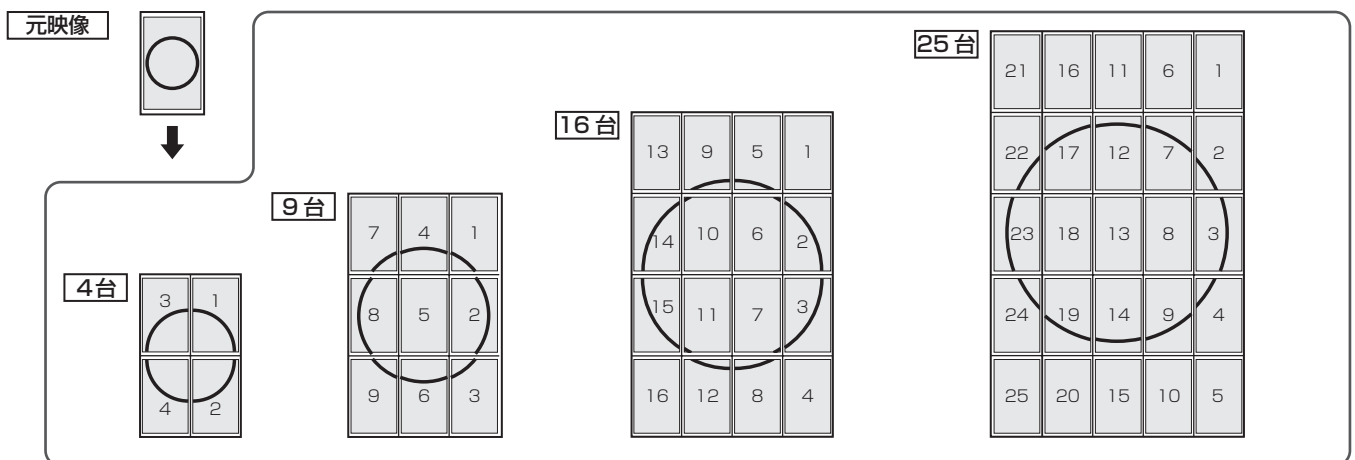
#### 拡大位置

- 4、9、16、25台の本機を並べて、1つの大きな画面として表示させることができます。各ディスプレイには分割された部分の映像が拡大表示（エンラージ）されます。

#### 横長使用時



#### 縦長使用時



## ■ スケジュールについて

指定の時刻に電源を入/切することができます。

また、USB メモリー内のファイルを指定の時刻に自動再生することができます。(20 ページ)

本体設定メニューの「スケジュール」で設定します。(23 ページ)

1. ファイルを再生する場合は USB 端子に再生する USB メモリーを接続する。(10 ページ)
2. ▲▼ ボタンでスケジュール番号を選び、ENTER ボタンを押す。
3. スケジュールを設定する。(下記)
  - ▲▼ ボタンで項目を移動し、各項目を設定します。
4. MENU ボタンを押す。  
スケジュールが有効になります。

### ① 入/切

スケジュールの有効/無効を変えます。

### ② 電源入時間

電源を入れる時刻を指定します。

◀▶▲▼ ボタンで時刻を設定し、RETURN ボタンを押してください。

### ③ 電源切時間

電源を切り、電源待機状態になる時刻を指定します。

◀▶▲▼ ボタンで時刻を設定し、RETURN ボタンを押してください。

### ④ リピートモード

スケジュールを実行する日(曜日)を指定します。

ENTER ボタンで指定し、RETURN ボタンを押してください。

- 1 回  
曜日に関係なく、1 回だけスケジュールを実行します。「1 回」に設定したスケジュールは、スケジュール実行後に設定が消えます。
- 毎週日曜～毎週土曜  
毎週指定の曜日にスケジュールを実行します。複数の曜日を指定できます。

### ⑤ 入力

電源を入れたとき画面に表示する入力モードを指定します。

### ! ご注意

- スケジュールを設定したときは、主電源を切らないでください。
- 電源待機中、入力信号待機中のみスケジュール入が動作し、その後、切が動作します。
- 日付・時刻を正しく設定してください。(23 ページ) 日付・時刻が設定されていない場合、スケジュールが動作しません。
- 設定されている日付・時刻が正しいか、定期的に確認してください。

### ご参考

- スケジュールは 7 件まで登録できます。
- 電源待機状態になったとき、スケジュールが設定されていると電源ランプは赤色とオレンジ色の交互に点滅します。
- スケジュールが重なっているときは、スケジュール番号の小さいスケジュールが優先されます。

## コンピューター画面の調整について

### ■ 自動調整

「D-SUB」でコンピューターの画面を初めて表示するときや、そのコンピューターの設定を変更したあとには、画面の自動調整を行ってください。

1. 入力を「D-SUB」に切り換え、調整用パターンを表示する。(下記)
2. MENU ボタンを押し、◀▶ ボタンで本体設定メニューを表示する。
3. ▲▼ ボタンを押して画面調整を選び、▶ ボタンを押す。
4. ▲▼ ボタンを押して自動調整を選び、▶ ボタンを押す。  
数秒後に自動調整が完了します。
5. MENU ボタンを押して、メニュー画面を閉じる。

### ご参考

- 1 回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を 2～3 回繰り返してみてください。さらに必要に応じて、手動で微調整を行ってください。

### ■ 調整時の画面表示

画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。Windows をお使いの場合は、調整用パターンを利用してください。調整用パターンはホームページからダウンロードします。

[https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/driver\\_soft.html](https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/driver_soft.html)

### ご参考

- 使用するコンピューターの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

# コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

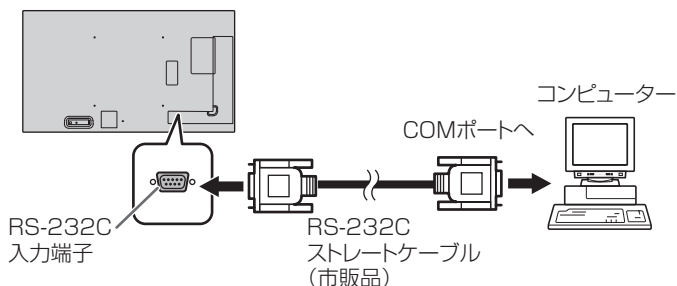
コンピューターのRS-232C (COMポート) を利用して、コンピューターから本機を制御することができます。

## ご参考

- RS-232C で制御するときは、「RS-232C/LAN 切換」を「RS-232C」に設定してください。(23 ページ)
- RS-232C と LAN の制御を同時に行うことはできません。

## 接続のしかた

コンピューターのCOMポート (RS-232C コネクター) と本機のRS-232C 入力端子をRS-232C ケーブル (ストレート) で接続します。



## 通信仕様

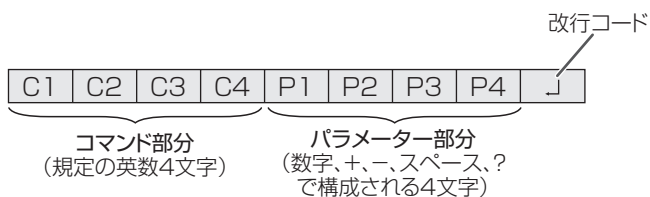
コンピューター側のRS-232C 通信仕様を次のように設定してください。

ボーレート	9600bps	ストップビット	1ビット
データ長	8ビット	フロー制御	なし
パリティ	なし		

## 通信手順

### ■ コマンド

コンピューターから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



[例] VOLM0030  
VOLM<sub>□□</sub>30

- ※ パラメーター部分が4文字に足りない場合は、スペース (「<sub>□</sub>」) で4文字になるように調整してください。(「<sub>□</sub>」は改行コード (OD<sub>H</sub>, OA<sub>H</sub> または OD<sub>H</sub>))  
× VOLM30<sub>□</sub>  
○ VOLM<sub>□□</sub>30<sub>□</sub>

「?」をパラメーターにすることにより、現在の設定値を返します。

[例]  
VOLM ??? ← コンピューターから本機へ (現在の音量設定値は?)  
30 ← 本機からコンピューターへ (設定値: 30)

### ■ レスポンス

#### コマンドが正しく実行された場合

OK<sub>□</sub> ← 改行コード (OD<sub>H</sub>, OA<sub>H</sub>)

コマンドの終了後、返信されます。

#### コマンドが実行できなかった場合

ERR<sub>□</sub> ← 改行コード (OD<sub>H</sub>, OA<sub>H</sub>)

## ご参考

- 該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できないコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- コンピューターと本機の接続が不完全な場合など、通信自体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。
- 周囲環境によるノイズ等が原因で、正しくコマンドが受信できず「ERR」が返信される場合があります。システムやソフトウェアで、コマンドの再送信 (リトライ) を行う等配慮してください。

### ■ 通信間隔について

- 必ず OK または ERR が返ってきたあとに次のコマンドを送信してください。  
また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設定するときは、10 秒以上に設定してください。
- コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、100ms 以上の間隔を空けてください。

## RS-232C コマンド一覧表

### コマンド一覧表の見かた

コマンド： コマンド部分 (28 ページ)

方向： W 「パラメーター」をパラメーター部分 (28 ページ) に設定して使用することにより、「制御/返信内容」に書かれたように機能します。

R パラメーター部分 (28 ページ) に「????」または「\_ \_ \_ ?」を使用することにより、「返信」に示す返り値が得られます。

パラメーター： パラメーター部分 (引数) (28 ページ)

返信： レスポンス (返り値)

※： ●： 電源「入」と電源待機状態、入力信号待機状態で使えます。

△： 電源「入」と入力信号待機状態で使えます。

－： 電源「入」で使えます。

### 電源制御/入力切替

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容	※
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行	●
			1		電源待機状態から復帰	
	R		0	電源待機状態		
			1	通常動作状態		
入力切替	INPS	WR	0		トグルで入力切替	△
			2		D-SUB	
			10		HDMI1	
			11		USB	
			13		HDMI2	
			18		HDMI3	

### 映像調整メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容	※
明るさ	VLMP	WR	0～50	0～50		－
画面サイズ	WIDE	WR	1～4	1～4	1：ワイド、2：ノーマル、3：Dot by Dot、4：ズーム	
カラーモード	BMOD	WR	0	0	標準	
			2	2	あざやか	
			3	3	sRGB	
			4	4	高照度カラー	
色温度	WHBL	WR	0～2	0～2	0: 調整しない、1: プリセット、2: ユーザー設定	
赤色コントラスト	CRTR	WR	0～255	0～255	WHBL が 2 に設定されていない場合はエラー (ERR)。	
緑色コントラスト	CRTG	WR	0～255	0～255		
青色コントラスト	CRTB	WR	0～255	0～255		

### 本体設定メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御/返信内容	※
日付・時刻設定	DATE	WR	AABBCCDDEE	AABBCCDDEE	AA：年、BB：月、CC：日、DD：時、EE：分	－
Telnet ユーザー名	USER	WR	XXXXXXXX	XXXXXXXX	8 文字以下で半角英数字と「_」と「_」。 (空欄は可、スペースは不可)	
Telnet パスワード	PASS	WR	XXXXXXXX	XXXXXXXX	8 文字以下で半角英数字と「_」と「_」。 (空欄は可、スペースは不可)	
温度センサー設定	STDR	WR	0～3	0～3	0：横長設置、1：縦長設置、2：上向き、3：下向き	●
型名	INF1	R		値		
製造番号	SRNO	R		値		
自動調整	ASNC	W	1		D-SUB における「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」を自動的に調整します。	
オールリセット	RSET	W	0			



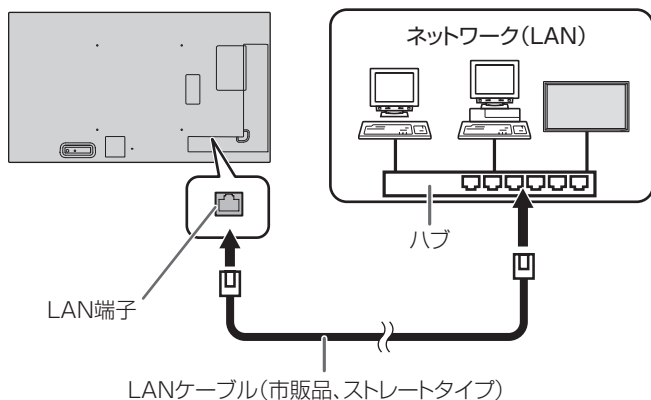
## コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

### その他

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※
音量調整	VOLM	WR	0 ~ 31	0 ~ 31		-
消音	MUTE	WR	0 ~ 1	0 ~ 1	0:しない、1:する	-
温度異常監視	DSTA	R		0	内部温度正常	●
				1	内部温度異常が発生し、電源待機状態	
				2	過去に温度異常発生 (温度異常の情報を消すときは、主電源を切ります。)	
				3	内部温度異常が発生し、バックライト輝度低減状態	
				4	温度センサー異常	
温度取得	ERRT	R		値	温度センサーの温度を返信する。 返信が「126」のときは、温度センサー異常。	-
解像度チェック	PXCK	R		-	現在の解像度を○○○、○○○の形で返信	-

# コンピューターで本機を制御する (LAN)

本機をネットワークに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本機を制御することができます。  
接続は、市販のLAN ケーブル (UTP ケーブル、カテゴリー 5、ストレートタイプ) を使用します。



## ！注意

- ・本機は法令上、電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。
- ・ネットワークには、通信内容を盗み見られたり、不正にアクセスされるなどの危険があります。安全が確保されたネットワークで使用してください。

## ご参考

- ・「パワーセーブモード」が「する」のとき、スタンバイモードおよび入力信号待機状態では、制御できません。
- ・LAN で制御するときは、「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定してください。(23 ページ)
- ・RS-232C と LAN の制御を同時に行うことはできません。

## ■ 本機で設定する場合

本体設定メニューの「通信設定」の「RS-232C/LAN 切換」を「LAN」に設定したあと、「LAN 設定」で設定します。(23 ページ)

各項目を設定したあと、「設定」を選び ENTER ボタンを押してください。

### 設定表示

LAN 設定の情報を表示します。

### DHCP クライアント

ネットワークに DHCP サーバーがあり、アドレスを自動取得する場合は「使用する」にします。

アドレスを手動で設定する場合は「使用しない」にします。

### IP アドレス

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、IP アドレスを設定します。

◀▶ボタンで項目を移動し、数字入力ボタン (0 ~ 9) で数値を入力します。

▲▼ボタンで数値を変更することもできます。

### サブネットマスク

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、サブネットマスクを設定します。

◀▶ボタンで項目を移動し、数字入力ボタン (0 ~ 9) で数値を入力します。

▲▼ボタンで数値を変更することもできます。

### デフォルトゲートウェイ

DHCP クライアントが「使用しない」のとき、デフォルトゲートウェイを設定します。

デフォルトゲートウェイを使用しない場合は、「000.000.000.000」に設定してください。

◀▶ボタンで項目を移動し、数字入力ボタン (0 ~ 9) で数値を入力します。

▲▼ボタンで数値を変更することもできます。

### 設定

設定を保存します。

## コマンドによる制御

ターミナルソフトなどを使い、RS-232C コマンド (29 ページ) で本機を制御することができます。

ターミナルソフトの説明書も併せてお読みください。

### 1. 本機と接続する。

- ① IP アドレス、データポート番号 (10008) を指定し、本機と接続する。  
接続に成功すると、「Login:」が返信されます。
- ② ユーザー名を送信する。
  - ・「ユーザー名」 + 「□」を送信してください。
  - ・ユーザー名を設定していない場合は、「□」を送信してください。
  - ・送信に成功すると、「□ Password:」が返信されます。
- ③ パスワードを送信する。
  - ・「パスワード」 + 「□」を送信してください。
  - ・パスワードを設定していない場合は、「□」を送信してください。「□ New password:」が返信されます。パスワードを設定してください。「パスワード」 + 「□」を送信してください。「□ Retype new password」が返信されます。再度「パスワード」 + 「□」を送信してください。
  - ・送信に成功すると、「OK □」が返信されます。

### 2. コマンドを送信し、本機を制御する。

- ・コマンドは RS-232C と同じです。通信手順 (28 ページ) に従い操作してください。
- ・RS-232C コマンド一覧表 (29 ページ) にあるコマンドが使えます。

### 3. 本機との接続を切断し、終了する。

- ① 「BYE □」を送信する。  
送信に成功すると、「goodbye」が返信され、接続が切断されます。

# 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。  
アフターサービスについては 33 ページをご覧ください。

## 映像も音声も出ない

- 電源ランプが消えている
  - 本機に電源が供給されていますか。
  - 電源コードは正しく接続されていますか。(12 ページ)
  - 主電源スイッチが「切」になっていませんか。(15 ページ)
- 電源ランプがオレンジ色に点灯している
  - 電源待機状態になっています。電源を入れてください。(15 ページ)
- 電源ランプが緑色に点滅している
  - 入力信号がありません。
  - ケーブルを接続した入力端子に合った入力モードが選択されていますか。(17 ページ)
  - 外部機器を接続している場合、機器側が動作（再生）状態になっていませんか。

## リモコンが動作しない

- 電池の極性（+、-）が逆になっていませんか。(14 ページ)
- リモコンの乾電池が消耗していませんか。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けてお使いください。(14 ページ)

## 音が左右逆になる

### 片方しか音が出ない

- 音声用のケーブルは正しく接続されていますか。

## 映像は出るが音が出ない

- 消音になっていませんか。
- 音量調整が最小になっていませんか。
- 音声ケーブル（市販品）は接続されていますか。

## 映像が乱れる

- 対応可能な信号でない場合が考えられます。
- 「D-SUB」で使っている場合、画面の自動調整を行ってみてください。

## HDMI 入力端子の映像が正しく表示できない

- HDMI ケーブルは 4K に対応した HDMI 規格認証品ですか。規格外のケーブルでは正しく動作しません。
- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(36 ページ、37 ページ)
- 接続されている機器が 4K 非対応の場合、「HDMI モード」を「モード 2」に設定してください。

## D-sub 入力端子の映像が正しく表示できない

- 入力信号は、本機が対応している信号ですか。(36 ページ)

## 操作ボタンが効かない

### 画面に何も映らない

- 外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。一度本体の主電源を入れ直し、動作を確認してください。

## 入力モードが自動的に変わる

- 「無信号時自動入力切換」が「する」のとき、映像信号の入力が無くなると自動的に映像信号のある入力モードに変わります。そのため、下記のような場合でも入力モードが変わる場合があります。
  - コンピューターがシステムスタンバイ状態になった場合
  - 再生機器で映像の再生を停止した場合

## 「自動低減中」と表示されている

- 本体の内部温度が高温になり、温度上昇を防止するため、バックライトの輝度が自動的にさがります。この場合、明るさを調整しても「自動低減中」と表示され、明るさを変えることはできません。
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。

## ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。

## 電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅している

### 画面の隅に「モニター温度」と表示されている

- 温度異常を防止するため、本体の内部温度が高温になると、バックライトの輝度が自動的にさがります。その場合画面には、「モニター温度」と表示され、電源ランプが赤色と緑色の交互に点滅します。
- さらに内部温度が上昇すると、本機は自動的に電源待機状態になります。(電源ランプは赤色と緑色の交互に点滅します。)
- 温度が上昇した原因を取り除いてください。
  - 温度が上昇して電源待機状態になったときは、本機の電源を入れ直すことで表示状態に戻せますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。(9 ページ)
  - 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本体後面などの通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
  - 本機の内部や通風孔にほこりがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるほこりはこまめに取り除いてください。内部のほこりの除去については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

# アフターサービスについて

## ■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源のLEDバックライトは消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

## ■ 補修用性能部品について

当社は、原則として、本製品の補修用性能部品を製造打切後、5年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

## ■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（32ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入のの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

### ご連絡していただきたい内容

- 品名：インフォメーションディスプレイ
- 形名：PN-HS551/PN-HS501/PN-HS431/  
PN-HY551/PN-HY501/PN-HY431  
（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

### 保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にお問い合わせください。

# 仕様

## ■ 製品仕様

形名	PN-HS551	PN-HY551	PN-HS501	PN-HY501	PN-HS431	PN-HY431
液晶表示素子	55V 型ワイド (対角 138.783cm) TFT 液晶		50V 型ワイド (対角 125.730cm) TFT 液晶		43V 型ワイド (対角 107.986cm) TFT 液晶	
最大解像度	3840 × 2160					
最大表示色	約 10.7 億色					
画素ピッチ	水平 0.315mm × 垂直 0.315mm		水平 0.2854mm × 垂直 0.2854mm		水平 0.2451mm × 垂直 0.2451mm	
輝度 (標準値) ※ 1	700cd/m <sup>2</sup>	500cd/m <sup>2</sup>	700cd/m <sup>2</sup>	500cd/m <sup>2</sup>	700cd/m <sup>2</sup>	500cd/m <sup>2</sup>
コントラスト比 (標準値)	5000 : 1		4000 : 1		1200 : 1	
視野角	左右 178° / 上下 178° (コントラスト比 ≥ 10)					
表示画面サイズ	横 1209.6mm × 縦 680.4mm		横 1095.84mm × 縦 616.41mm		横 941.184mm × 縦 529.416mm	
映像入力信号	アナログ RGB (0.7Vp-p) [75 Ω]					
同期入力信号	水平 / 垂直セパレート (TTL : 正 / 負)					
プラグ & プレイ	VESA DDC2B 対応					
入力端子	映像	ミニ D-sub15 ピン (3 列) (1 系統) HDMI (3 系統)				
	シリアル (RS-232C)	D-sub9 ピン (1 系統)				
	音声	φ 3.5mm ミニステレオジャック (1 系統)				
出力端子	音声	RCA ピン (L/R) (1 系統)				
	IR	φ 3.5mm ミニステレオジャック (1 系統) ※ 2				
USB 端子	USB 2.0 準拠 × 1					
LAN 端子	10BASE-T/100BASE-TX					
スピーカー出力	10W+10W					
電源 ※ 3	AC100- 240V、2.1A、 50/60Hz	AC100- 240V、1.8A、 50/60Hz	AC100- 240V、1.7A、 50/60Hz	AC100- 240V、1.3A、 50/60Hz	AC100- 240V、1.6A、 50/60Hz	AC100- 240V、1.2A、 50/60Hz
使用温度条件 ※ 4	0 ~ 40°C					
使用湿度条件	20 ~ 80% (結露なきこと)					
消費電力 (入力信号待機状態 / ネット ワークスタンバイモード ※ 5 / スタンバイモード ※ 5)	190W (1.0W/ 1.0W/0.5W)	150W (1.0W/1.0W/0.5W)		110W (1.0W/ 1.0W/0.5W)	140W (1.0W/ 1.0W/0.5W)	100W (1.0W/ 1.0W/0.5W)
	幅約 1241.8mm × 奥行約 63.5mm × 高さ約 712.6mm		幅約 1128.4mm × 奥行約 63.5mm × 高さ約 649mm		幅約 973mm × 奥行約 63.5mm × 高さ約 561.2mm	
質量	約 18.0kg		約 15.0kg		約 11.5kg	
梱包時寸法	幅約 1350mm × 奥行約 160mm × 高さ約 860mm		幅約 1230mm × 奥行約 142mm × 高さ約 800mm		幅約 1070mm × 奥行約 141mm × 高さ約 680mm	
梱包時質量	約 23.0kg		約 18.5kg		約 14.0kg	

※ 1 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

※ 2 D-sub9 ピンへの変換ケーブルは別売です。

※ 3 AC200V (50/60Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。

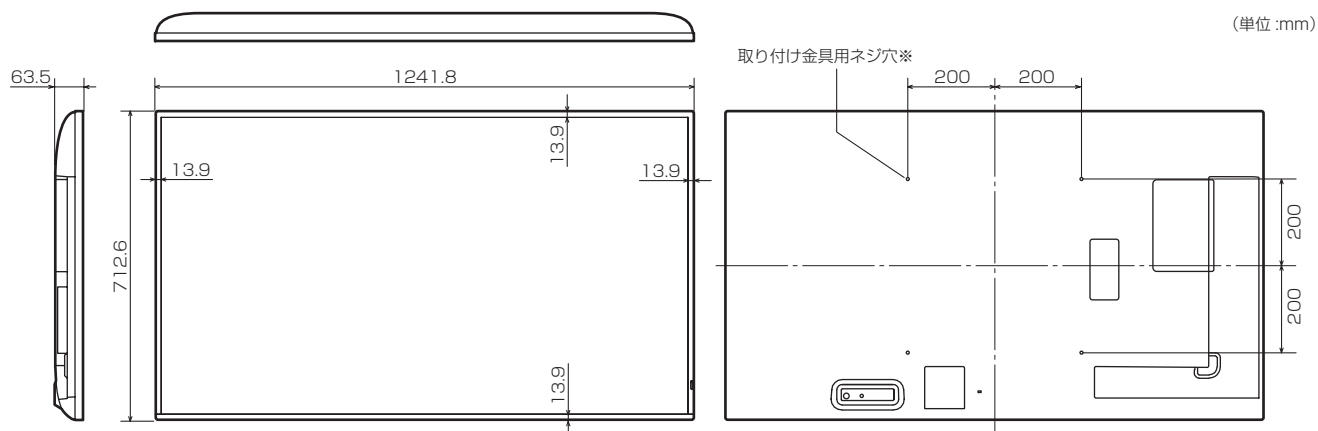
※ 4 平置き (水平面に対し垂直の状態から上向き / 下向き 20° を超えて傾ける場合) の場合は 0°C ~ 30°C で使用してください。別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。

※ 5 別売品未装着時。

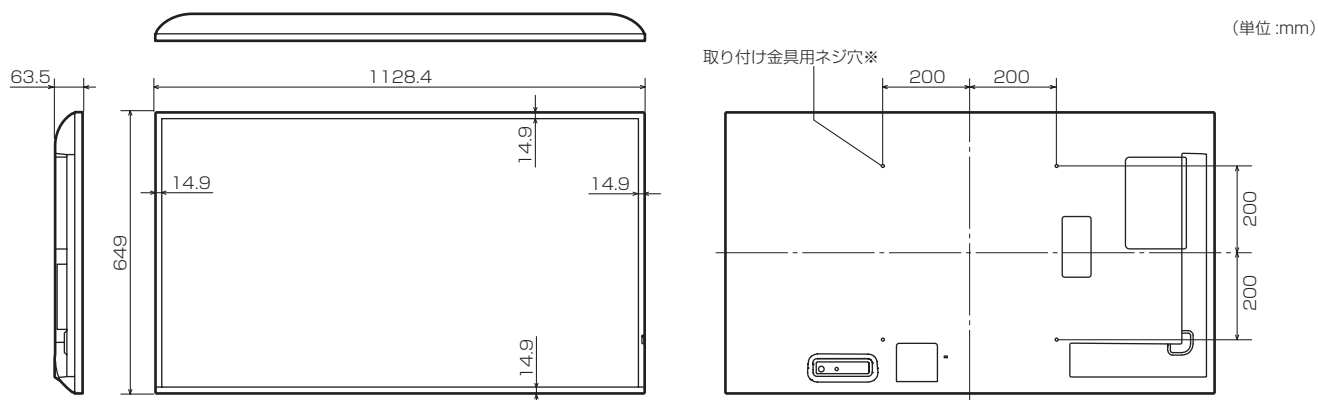
## ■ 寸法図

数値はおよその値です。

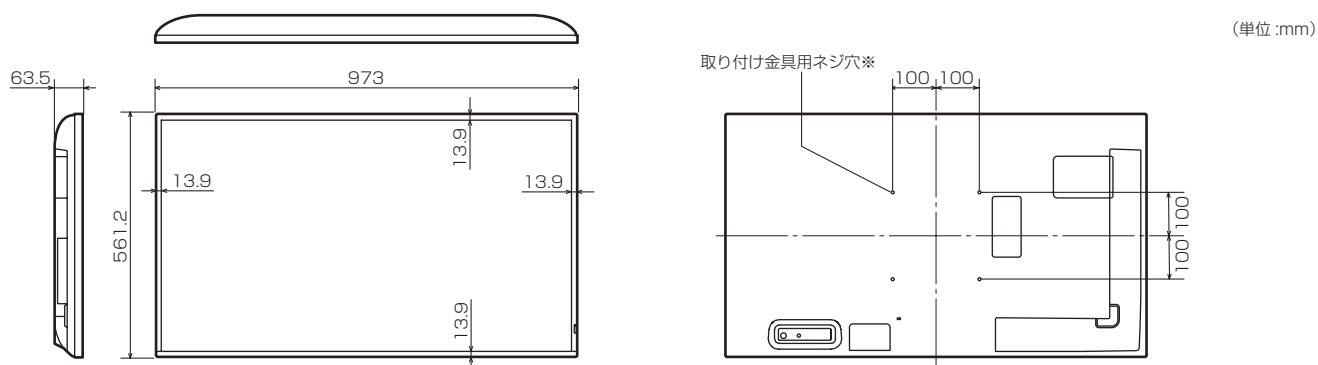
## [PN-HS551/PN-HY551]



## [PN-HS501/PN-HY501]



## [PN-HS431/PN-HY431]



※ VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ +10 ~ 12mm のものを使用してください。

## ■ PC 対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドット周波数 (MHz)	デジタル HDMI	アナログ D-SUB
VESA	640 × 480	31.5	60	25.175	○	○
	800 × 600	37.9	60	40.0	○	○
	848 × 480	31.0	60	33.75	—	○
	1024 × 768	48.4	60	65.0	○	○
	1280 × 800	49.7	60	83.5	○	○
	1280 × 960	60.0	60	108.0	○	○
		64.0	60	108.0	○	○
	1360 × 768	80.0	75	135.0	○	○
		47.7	60	85.5	○	—
	1400 × 1050	65.3	60	121.75	○	—
	1440 × 900	55.9	60	106.5	○	○
	1680 × 1050	65.3	60	146.25	○	○
ワイド	1280 × 720	44.7	60	74.4	○	○
	1920 × 1080	67.5	60	148.5	○	○
	3840 × 2160	54.0	24	297.0	○	—
		56.25	25	297.0	○	—
		67.5	30	297.0	○	—
		112.5	50	594.0	○	—
		135	60	594.0	○	—
	4096 × 2160 <sup>*1</sup>	54.0	24	297.0	○	—
		56.0	25	297.0	○ <sup>*2</sup>	—
		67.0	30	297.0	○ <sup>*2</sup>	—
		112.5	50	594.0	○	—
		135.0	60	594.0	○	—
US TEXT	720 × 400	31.5	70	28.3	○	○

※ 1 Dot by Dot 以外では縮小して表示し、Dot by Dot ではパネルサイズで切り取って表示します。

※ 2 「HDMI モード」が「モード 1」のとき対応。

- 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。



## ■ AV 対応信号タイミング

画面解像度	周波数 (Hz)	HDMI
4096 × 2160p	24	○
	25	○
	30	○
	50	○
	59.94	○
	60	○
3840 × 2160p	24	○
	25	○
	30	○
	50	○
	59.94	○
	60	○
1920 × 1080p	24	○
	50	○
	59.94	○
	60	○
1920 × 1080i	50	○
	59.94	○
	60	○
1280 × 720p	50	○
	59.94	○
	60	○
720 × 576p	50	○
720 × 480p	59.94	○
	60	○
640 × 480p (VGA)	59.94	○
	60	○
720 (1440) × 576i	50	○
720 (1440) × 480i	59.94	○
	60	○

## ■ DDC (プラグ&プレイ)

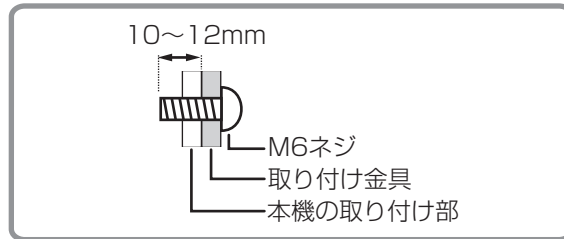
本機は、VESA の DDC (Display Data Channel) 規格をサポートしています。

DDC とは、ディスプレイとコンピューターのプラグ&プレイを行うための信号規格です。ディスプレイとコンピューターの間で解像度などに関する情報を受け渡します。この機能は、コンピューターが DDC に対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2B に対応しています。

# 設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）

- 設置や取り外し、移動の際は、2人以上で行ってください。
- 取り付け金具は、本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- VESA規格の金具の取り付けには、M6ネジで、長さが取り付け金具の厚さ+10～12mmのものを使用してください。



- 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。
- インパクトドライバーを使用しないでください。
- 移動するときなどは、本体周辺部を持ってください。液晶パネルに手をかけないでください。破損や故障、けがの原因となることがあります。
- 本機を設置したあとは転倒防止策を実施することをお勧めします。
- 後面の取り付け金具用ネジ穴以外のネジ穴は設置に使えません。
- 本機を平置き（水平面に対し垂直の状態から上向き / 下向き 20° を超えて傾ける場合）で使用するときは、お客様ご相談窓口（セットアップマニュアル）にご相談ください。平置きの設置条件があります。

# シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

●住所などは変わることがあります。(2021.9)

PN-HS551-HS501-HS431-HY551-HY501-HY431 M JA21J(2)